

平成24年度

事業報告書

事業の総括

本会は、北九州市地域福祉活動第四次計画「住民ふくしの元気プラン」に基づき住民一人ひとりが、安心して生き生きと暮らすまちづくりを目指し、様々な福祉課題の解決に取り組みました。

今年度、新たに北九州市からの受託事業として、市民の主体的な健康づくりを促進し、健康の重要性を普及啓発することを目的とした「健康マイレージ事業」及び高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進する「高齢者いきがい活動ステーション事業」を実施しました。

特に健康マイレージ事業は、社協のネットワークを活用し、応募者数が昨年の実績を大きく上回る結果となるなど高い評価を受けることができました。

また、本会として主体的に関わってきた東日本大震災における、避難者支援を目的として発足した絆プロジェクト北九州会議も、避難者の日常生活が安定傾向にあることから、一応の終息として年度末をもって解散に至りました。

しかし、一部の支援の必要な方には、他の市民と同様に本会の推進している「ふれあいネットワーク活動」での見守り・サポートを継続します。

本会を取り巻く環境は、福祉課題の多様化や財政削減など依然として厳しい状況ではありますが、多くの関係機関・団体と緊密な連携のもと、地域福祉活動の充実強化を図り、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の推進に努めました。

記

北九州市地域福祉活動第四次計画 「基本目標」と「実施項目」

基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

基本目標Ⅱ みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり

基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう

- 1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整
- 2 共同募金会との連携
- 3 小地域福祉活動計画の推進

基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究・提言

推進基盤の強化

平成24年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めるためには、地域社会の福祉課題を住民一人ひとりが理解し、課題を抱える当事者と共に、一人でも多くの住民が解決に動き出せる仕組みづくりと、活動への参加が必要です。

そのため、様々な手段を通じて福祉の風土の醸成を図るとともに、地域の福祉活動に積極的に参加できる人材の育成に努めました。

目標達成のための取り組み

1 広報・啓発の強化

(1) 広報紙・パンフレット・ガイドブック等の発行

- ・ テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 ＜全部署＞
- ・ 広報紙の発行 ＜振興課・施設部・活動推進課・周望・穴生＞
 - 「市社協だより」・「ひと&ひと」各年4回
 - 「ウエル新聞」年12回
 - 市社協だよりへの「企業の社会貢献活動」記事定期掲載 年4回
 - 「周望学舎新聞」年1回、「周望かわら版」年4回
 - 「穴生学舎新聞」年1回、「穴生かわら版」年2回
- ・ 校(地)区社協活動先進事例集「プチボなまちづくり」の発行（10,000部）
＜地域福祉課＞
- ・ ボランティア・市民活動ガイドブックの配布（500部） ＜活動推進課＞
- ・ 研修パンフレット「やさしさの広がるまちづくり」配付（4,500部）
＜研修課＞
- ・ 市内の店舗、銀行やJR駅へのチラシ・ポスター等掲示
＜施設部・福祉人材バンク＞
- ・ 新聞紙面や折込広告などの有料広告の実施 ＜福祉人材バンク・周望・穴生＞
（福祉人材バンク 新聞紙面広告 202万部）
（周望・穴生 新聞折り込みチラシ 12万6千部）
- ・ 北九州穴生ドームの利用情報の提供 ＜穴生＞
- ・ 夢追塾の講座や卒塾生の活動状況の提供（5,000部） ＜穴生＞

(2) 啓発イベント等の実施

- ・ 各種イベントでの「プチボザウルス」着ぐるみの活用 (27 回) <振興課>
- ・ 市社協表彰記念式典の実施 <総務課>
- ・ 収益事業を通じた広報・啓発事業の取り組み
<施設部・振興課・地域福祉課>
(Tシャツ 710 枚、エプロン 157 枚、ポロシャツ 323 枚の販売)
(まちづくりクッキー販売 493 箱)
(ウェルとばた記念グッズの試行販売 (写真台紙、ボールペン))
- ・ 「新一年生へのランドセルカバー配布」の全区実施に向けた調整・支援
<振興課>
- ・ 市民ふれあいフェスティバルの開催 (参加者 4,193 人) <活動推進課>
- ・ 年長者研修大学校の講座や高齢者ボランティア情報の提供 <周望・穴生>
(市政だよりシニアカレッジ、年長者と孫のつどい、講座等掲載 27 回)
- ・ 高齢者の生涯学習参加啓発講座の実施 (32 コース) <周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校をPRする短期自主講座の開催 <周望・穴生>
 - 1 日体験入学 周望 2 回 22 人、穴生 2 回 71 人
 - シニアカレッジ 周望 3 回 906 人、穴生 2 回 923 人
 - 公開講座 穴生 1 回 42 人
 - 夢追塾公開講座 1 回 140 人

(3) ホームページによる地域福祉関連情報の発信

- ・ ホームページの積極的活用、情報の発信 (58,290 件) <振興課>
- ・ 「ウェルとばた」ホームページを活用した情報発信 (随時) <施設部>
- ・ ホームページによる校(地)区社協活動の紹介 (新規 13 校区 計 59 校区)
<地域福祉課>
- ・ 「らいと」ホームページ活用による地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の周知及び広報 (年 1 回更新) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ ボランティアセンターホームページのリニューアル、随時更新での情報発信
<活動推進課>
- ・ ホームページの充実 <穴生>
(「穴生学舎つれづれ日記」随時掲載年 15 件、「夢追日記」年 5 件)

(4) 出前講演活動の実施

- ・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施 <全部署>
- ・ 出前講演活動の効果的推進 (96 回 3,603 人) <地域福祉課>
- ・ ボランティア・市民活動啓発に関する出前講演 <活動推進課>
(16 回 454 人)
- ・ 地域福祉権利擁護事業等に関する出前講演 (12 回 378 人)
<権利擁護・市民後見センター>
- ・ 穴生ドームニュースポーツの出前講演 (69 回 1,479 人) <穴生>

- (5) 各種事業を通じた広報啓発の取り組み
- ・ 「ウエルとばた」の地域福祉活動拠点機能のPR (7回 95人) <施設部>
 - ・ 「ウエルとばた」での映画上映を通じた福祉課題の情報発信 (1回 481人) <施設部>

2 福祉教育の推進

(1) 子どもを対象とした福祉教育

①地域住民主導の福祉教育

- ・ 校(地)区社協・学校と連携した次世代地域福祉活動育成事業(ウエルクラブ活動等)の効果的推進 (36校区 参加児童 921人) <地域福祉課>
- ・ 夏休みボランティア体験学習の実施 (2回 1,894人) <活動推進課>
- ・ 異世代に対する伝承活動、世代間ふれあい交流会の実施
(周望 夏休み年長者と孫のつどい 63人) <周望>
(穴生 シニアと孫の夏休み IN 穴生学舎 23人) <穴生>
- ・ 留学生との交流・支援 (2回 60人) <周望>
- ・ 世代間交流として幼稚園・小学校・中学校・高校生を対象にニュースポーツの体験事業の実施 (穴生ドームフェスタ 2,345人) <穴生>

②学校等と連携した福祉教育

- ・ 社会福祉協力校指定事業(継続20校、新規5校指定) <活動推進課>

(2) 市民を対象とした福祉教育

①住民啓発講座等による福祉教育

- ・ 校(地)区社協機能を活かした住民福祉講座の開催 (30校区 1,452人) <地域福祉課>
- ・ 認知症サポーターキャラバン事業の実施 <地域福祉課>
(認知症サポーター養成講座 143回、4,780人)
(認知症サポーターステップアップ研修 46回、1,847人)
(キャラバン・メイト養成研修 1回、30人)
(キャラバン・メイトフォローアップ講座 1回 42人)
*登録サポーター累計 37,816人、登録メイト累計 248人
*認知症サポーターメール配信サービス登録者 702人、配信回数 15回
- ・ 社会福祉施設及び市民センターにおける体験学習の実施 <周望・穴生>
(44回)

②年長者研修大学校による福祉教育

- ・ 年長者研修大学校全研修生に対する共通科目としての福祉教育の充実 (年間 32 コース) <周望・穴生>

3 地域福祉人材の育成

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- ・ 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成 ＜研修課＞
 - 市民講演会（1回 1日 90人）
 - まちづくりセミナー（1回 5日間 158人）
 - 地域支援ボランティア研修の実施（7回 21日間 546人）
- ・ 年長者研修大学校修了生等の地域・ボランティア活動促進 ＜周望・穴生＞
 - 研修生の地域清掃活動（各学舎 209回 970人）
 - 通学路での見守り活動（周望 16回 411人）
- ・ 地域活動情報支援センターでの人材育成、コーディネート及び情報収集・発信、地域活動の支援、修了後の活動支援 ＜穴生＞
 - ボランティアフェスタ I N八幡西への参画（傾聴ボランティア他）
 - 地域活動情報支援センターとの連携（地域コーディネート 69回）
 - 傾聴ボランティア入門講座の開催（5回 108人）

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

- ・ 校(地)区社協活動者交流会の開催（1回 33校区 278人） ＜地域福祉課＞
- ・ 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成 ＜研修課＞
 - 新任者の育成
 - 新任福祉協力員等研修（9回 9日 433人）
 - 現任者の育成
 - 現任福祉協力員等研修（7回 7日 485人）
 - 地域福祉活動専門研修（2回 2日 94人）
 - 校(地)区社協 個別研修（7回 7日 249人）
 - 役員の育成
 - 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」（1回 1日 217人）
 - 校(地)区社協新任役員研修（1回 1日 98人）
 - まちづくりゼミナール（1回 5日 55人）
- ・ 地域活動を目指す研修生と地域活動者との交流事業実施 ＜周望・穴生＞

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

- ・ テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成 ＜研修課＞
 - 入門者の育成
 - 傾聴ボランティア養成講座（1回 3日 56人）
 - 福祉有償運送運転協力者研修（4回 8日 116人）
 - 活動者の育成
 - ボランティア活動者研修（1回 1日 16人）
 - 傾聴ボランティアフォローアップ研修（1回 1日 27人）
 - リーダーの育成
 - ボランティアリーダー研修（1回 2日 24人）

- ・ シルバーバンク、高齢者ボランティア等の活性化と活動支援 <周望>
 - ・ パソコン講座の講師補助ボランティアの育成 <周望・穴生>
(周望 5人 36回、穴生 9人 90回)
 - ・ 健康・体力づくり指導者の研修及び健康ボランティアの養成 <穴生>
(健康ボランティア養成研修 2日 41人)
 - ・ シニア世代の社会貢献や起業支援を行う夢追塾事業の充実 <穴生>
(7期生 37人 内男性19人 女性18人)
- (4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成
- ・ 民間社会福祉施設従事者の資質向上を目指した研修会の実施
(職場の安全研修 1回 52人) <振興課・福祉人材バンク>
 - ・ ボランティアビギナーズ研修 (3回 3日 230人) <研修課>
- (5) ボランティア・市民活動支援者の育成
- ・ ボランティア・市民活動支援者の育成 <研修課>
 - 実務者の育成
ボランティアコーディネーター研修 (1回 2日 39人)
 - 管理者の育成
ボランティアを快く受け入れるための施設長研修 (1回 1日 22人)

基本目標 II みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、それぞれの地域において公私の社会福祉関係者と共に、幅広い住民が地域の福祉活動へ参加することが必要です。

このため、支援を必要としている人たちのニーズを把握し、支援を必要としている人がその課題解決に向かえるよう、住民の主体的参加による福祉活動に取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 小地域福祉活動の活性化

(1) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化

- 校(地)区社協と福祉関係者(民生委員・いのちをつなぐネットワーク担当係長等行政・福祉施設職員等)やNPO・市民活動団体との連携強化・情報の共有

＜地域福祉課・振興課＞

- 「地域福祉ネットワーク強化事業」(基本事業)の全校(地)区への展開

＜地域福祉課＞

- 校(地)区の実態に対応した事業実施に取り組むための校(地)区の課題整理の支援

＜地域福祉課＞

- 校(地)区社協活動先進事例集の発行(10,000部)【再掲】

＜地域福祉課＞

(2) 校(地)区社会福祉協議会活動メニュー事業の実施

＜地域福祉課＞

- 高齢者のサロン事業の推進(90校区 170箇所)
- 校(地)区社協・学校と連携した次世代地域福祉活動者育成事業(ウエルクラブ活動等)の効果的推進(36校区、921人)【再掲】
- 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進
(小地域福祉活動計画策定研修3回 延202人)
(活動計画策定 9校区、推進中 10校区)

(3) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働

- 校(地)区社協とテーマ型ボランティア・市民活動団体の協働の推進

＜活動推進課＞

- 児童いきいきサロン応援団モデル事業の実施(1施設)

＜活動推進課＞

- 健康と福祉のまちづくり事業の支援

＜周望・穴生＞

- 年長者研修大学校修了者等の小地域福祉活動への結びつきの促進

＜周望・穴生＞

- 「ふれあい生き生きサロン」の実施(22回 2,044人)

＜穴生＞

- 高齢者による子育て活動への支援(10回 201人)

＜穴生＞

- ・ 小地域活動の健康づくり支援としてニュースポーツ出前事業、健康ボランティアによる活動支援 **<周望・穴生>**
 (ニュースポーツ出前講座 69回 1,479人)
 (健康ボランティア活動支援 48回 1,451人)

(4) 校(地)区社協会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の開催

<地域福祉課>

- ・ 校(地)区社会福祉協議会会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の定期的な開催の支援

2 ボランティア・市民活動の支援

(1) ボランティア・市民活動への支援

- ・ 各種基金助成金等の情報提供、申請協力による活動支援 **<振興課>**
 (情報提供 28件、申請協力 2件)
- ・ ウェルとばたの管理運営事業を活用して、ボランティア活動の場や市民活動の発表の場の提供 **<施設部>**
- ・ 施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施 **<施設部>**
 (「ステージでグランドピアノを弾いてみませんか」 2回 44人)
 (「個展を開いてみませんか」 7件)
- ・ 夏祭りイベントで、にぎわいを創出する「オープンカフェ」の実施(1回) **<施設部>**
- ・ 市民のエコ活動の啓発と推進 **<施設部>**
- ・ ウェルとばた入居者間のリユース・リサイクル情報提供(2回) **<施設部>**
- ・ ボランティア活動保険加入助成(活動者助成22,315人) **<活動推進課>**
- ・ 研修参加支援(全国ボランティアフェスティバル 1人) **<活動推進課>**
- ・ 活動相談・情報提供機能の充実 **<活動推進課>**
- ・ 福祉教材の貸与(140件 879台) **<活動推進課>**
- ・ 年長者研修大学校の地域開放事業等の実施 **<周望・穴生>**
 (読み聞かせボランティア入門講座 3回 56人)
 (傾聴ボランティア入門講座 5回 108人)
 (ボランティア体験 4回 34人)

(2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築

- ・ 区を横断する市域のボランティア・市民活動団体ネットワーク構築の推進
 (専門委員会による講演会・活動報告会 48人) **<活動推進課>**
- ・ 「絆プロジェクト北九州会議」への参画と被災者支援 **<全部署>**
- ・ コーディネーターの連絡機関組織化の推進 **<活動推進課>**
- ・ 区域におけるボランティア機関・団体との連携 **<周望・穴生>**
 (ボランティアグループ等と地域とのコーディネート 69回)

- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー機能の活用【再掲】 <周望・穴生>
(地域活動コーディネーター専任配置)
- ・ 年長者研修大学校ボランティア指導員の登用 (13 人) <周望・穴生>
- ・ 夢追塾ナビゲーター補佐への登用 (20 人) <穴生>

3 災害時の福祉救援体制づくり

(1) 災害時の福祉救援体制づくり

- ・ 民生委員児童委員と連携した福祉救援活動への取り組み推進 <振興課>
- ・ 校(地)区社協機能を活かした災害時の福祉救援体制づくりの推進
(出前講演 6 回 194 人) <地域福祉課>
- ・ 年長者研修大学校研修生に対する防災意識の高揚と救急救命講習及び教室の実施 (12 回 343 人) <周望・穴生>
- ・ 地域団体・福祉施設との防災協定に基づく防災訓練の実施 <周望・穴生>
(周望 1 回、穴生 2 回)
- ・ 災害時の災害ボランティアセンターとの連携と支援体制整備 <周望・穴生>
- ・ 周望学舎の宿泊施設を生かした緊急避難場所としての活用 <周望>
- ・ 穴生ドームの緊急避難場所としての活用 <穴生>

(2) 災害ボランティアセンターの設置に向けた体制整備

- ・ 災害救援ボランティアリーダー養成 (1 回 29 人) <活動推進課>
- ・ 北九州市防災会議への参画 <活動推進課>

(3) 九州北部豪雨災害に係る職員の応援派遣

- ・ 災害ボランティアセンターへの職員派遣 <全部署>
(大分県竹田市 7/21～7/31 4 名)
(福岡県八女市 8/2 ～8/31 8 名)

基本目標 Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、 福祉のネットワークをつくろう

市民の価値観や生活様式の多様化によって、地域の福祉課題についても複雑化し、いくつかの課題を同時に抱える場合もあります。

そのため、保健、医療、福祉等の関係機関・団体との連携を強め、総合的に課題の解決に取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整

(1) 民生委員・児童委員との連携

- ・ 市民生委員児童委員協議会事務局の運営 ＜振興課＞
(会議 32回、研修会 5回)
- ・ 市・区民生委員児童委員協議会の相互連携の推進 ＜振興課＞
- ・ 民生委員互助共励事業の実施による民生委員活動の充実と推進 ＜振興課＞
(弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業の実施)
- ・ 民生委員・児童委員と福祉協力員等との地域情報共有化による円滑な連携の推進 ＜振興課・地域福祉課＞

(2) 専門職等の参加による連絡調整会議の充実

- ・ 地域包括支援センター職員派遣と地域福祉活動者との協力体制づくり
(地域包括支援センター 12名、予防給付ケアマネージャー 9名派遣) ＜生活福祉課＞
- ・ 専門職等の参加による連絡調整会議の活性化 ＜地域福祉課＞
(全市で延べ 1,174回)

(3) 社会福祉関係機関・団体による地域の福祉課題の啓発活動

- ・ 高齢者の地域活動促進のための地域活動者との交流授業の実施
(研修生の市民センター活動見学 7回 98人) ＜周望・穴生＞
- ・ 社会福祉施設及び市民センターにおける体験学習と活動支援【再掲】
＜周望・穴生＞
- ・ 年長者研修大学校での老人クラブ研修の実施 (10回 528人) ＜周望＞
- ・ 高齢者の学習ニーズ等の調査及び情報収集と調査研究 ＜周望・穴生＞
(研修生アンケート 2回 追跡調査 1回)
- ・ 夢追塾塾生のニーズ調査及び卒塾生の実態調査 ＜穴生＞
(夢追塾運営に関する調査 4回)
- ・ 地域活動需給調整のための、社会福祉施設や地域包括支援センターにおける

- ニーズ調査（研修終了後 1回） <周望・穴生>
 - ・ 年長者研修大学校修了後の地域活動の追跡調査 <周望・穴生>
（各学舎 50人 年1回）
 - ・ 北九州シニアネットワークアカデミーの運営と調査・提言 <周望・穴生>
（運営改善委員会への諮問と提言 2回）
- （4）各施設協議会等との連携
- ・ 社会福祉施設連絡協議会の開催（年2回） <振興課>
 - ・ 大都市社会福祉施設協議会（千葉市）大会への参加 <振興課>
 - ・ ウェルとばた入居者との情報交換等による福祉団体等とのネットワークづくりの推進（6回） <施設部>
 - ・ ウェルとばた入居団体及び消防署との総合防火・防災訓練 <施設部>
（年2回 5月 170人、11月 169人）
- （5）福祉の職場の就労斡旋
- ・ 「介護有資格者就労支援セミナー」の開催（2回 60人） <福祉人材バンク>
 - ・ 「福祉の職場 合同就職面談会」の充実 <福祉人材バンク>
（2回 求人102施設、求人326件 975人、求職者288人 採用31人）
 - ・ 社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓 <福祉人材バンク>
（求人数848件 2,348人、採用者数58人）
 - ・ 求職登録者への定期的な求人情報の提供（2,261件） <福祉人材バンク>
 - ・ 福岡労働局、ハローワークとの連携 <福祉人材バンク>
 - ・ 福祉サービス事業従事者が安全・安心に働ける職場環境整備の推進
（職場の安全研修 1回 52人）【再掲】 <振興課・福祉人材バンク>
 - ・ 年長者研修大学校修了生等の活動拠点の確保 <周望・穴生>
- （6）社会福祉施設・団体への支援
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業の実施 <振興課>
（加入 200施設、4,360人、共済事業担当者会議1回 52人）
 - ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会の実施 <振興課>
（職場の安全研修 1回 52人）
 - ・ 各社会福祉施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加 <振興課>
（関係省庁、全社協等の情報を社会福祉施設へ提供）
（保育所連盟行事、児童養護施設協議会行事等への参加）
 - ・ 民間社会福祉施設整備資金等貸付事業の実施 <振興課>
（3件 4,200万円）
 - ・ 寄付行為に伴う寄贈施設の斡旋（8団体へ斡旋） <振興課>
 - ・ 社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施（5回 180人） <権利擁護・市民後見センター>
 - ・ 地域福祉権利擁護事業、法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>

2 共同募金会との連携

- (1) 共同募金会各区支会連絡協議会業務の活性化
- ・ 県共同募金配分委員会、推進委員会への参画 (福岡県共同募金会配分委員会・推進委員会参加) <振興課>
- (2) 共同募金の広報活動推進強化
- ・ ふれあいフェスタ 2012 で共同募金啓発パネル展の実施 <振興課>
- (3) 歳末たすけあい募金の地域支援事業への転換 <振興課>

3 小地域福祉活動計画の推進

- (1) 校(地)区単位の小地域活動計画づくりの推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進
 - ・ 小地域福祉活動計画策定マニュアルの作成 (200 部)
 - ・ 小地域福祉活動計画策定研修 (ふくしプランニング工房) の開催 (小地域福祉活動計画策定研修 3 回 延べ 202 人) (活動計画策定 9 校区、推進中 10 校区)

基本目標 IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域の中で安全で安心した生活ができるよう、関係機関・団体の連携のもとで、支援を必要としている人に対する活動を行っています。

また、住民の日常生活でのニーズを把握し、住民の生活感覚に沿った提言を行い、新しい活動の仕組みづくりに取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 権利の擁護と相談体制の充実

(1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実 <権利擁護・市民後見センター>

(平成 24 年度末 地域福祉権利擁護事業 実契約者 292 人)

(平成 24 年度末 法人後見事業 成年後見人等受任数 48 人)

- ・ 成年後見センター「みと」と連携した総合相談機能の強化
(相談件数 585 件)
- ・ 地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応
- ・ 関係団体との連携による効果的、効率的なサービスの実施 (行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等)
(金銭管理サービス総回数 4,854 回 生活支援サービス総回数 4,797 回)
- ・ 専門機関との連携による法人後見事業の円滑な遂行 (家庭裁判所、成年後見センター「みと」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等)
(法人後見事業活動総回数 1,237 回)
- ・ 職員のスキルアップと専門知識の習得
(専門員、支援員合同研修会の実施 3 回 106 人)
(ブロック会議の実施 2 回 72 人)
(参加研修会延べ回数 6 回 7 人)
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援
(法人後見事業移行件数 1 件)
- ・ 市民後見人養成研修の実施と、市民後見人として個人で選任される仕組みづくりの検討
(基礎研修 6 日間 延べ 166 人)
(実務研修 10 日間 延べ 260 人)
(公開講座 1 回 71 人、フォローアップ研修 1 回 48 人)
(市民後見人として個人で選任される仕組みづくりのための協議 5 回)
- ・ 効率的な事業遂行のための事務局体制の整備
(地域福祉権利擁護事業担当専門員 5 名、法人後見事業担当専門員 1 名)

(2) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介

- ・ 心配ごと相談所の運営 ＜振興課＞
(相談件数 1,307 件 解決 453 件、他機関 569 件 その他 285 件)
- ・ 求人、求職に対する相談と情報把握の充実 ＜福祉人材バンク＞
(求人相談 4,784 件、求職相談 4,253 件)
- ・ 生活福祉資金相談コーナー窓口での相談受付 ＜振興課＞
(窓口等相談件数 3,081 件、教育支援資金制度説明会開催 2 回)
- ・ 小地域福祉活動を活用した見守り対象者への情報提供 ＜地域福祉課＞
(16,997 世帯 136,472 回)
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申し立ての支援 ＜権利擁護・市民後見センター＞
(生活支援サービス総回数 4,797 回) 【再掲】

(3) 社会福祉施設と連携した相談体制の充実

- ・ 介護サービス相談員派遣事業の実施 ＜生活福祉課＞
(新規事業所 40 事業所 計 139 事業所 派遣回数 1,966 件 相談 18,644 人)
(介護サービス連絡会開催 年 4 回)
- ・ 権利擁護事業の理解の促進と福祉サービス等情報の提供 ＜周望・穴生＞
(研修生への社協活動、サポーター事業等紹介 各学舎 32 回)
- ・ 社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施 (年 5 回 180 人) 【再掲】 ＜権利擁護・市民後見センター＞

2 社会参加・自立の支援

(1) サロン事業の推進

- ・ 高齢者のサロン事業の推進 (90 校区、170 箇所) 【再掲】 ＜地域福祉課＞
- ・ 高齢者が高齢者を支援する「ふれあいいいきサロン」事業の実施 【再掲】
(22 回 2,044 人) ＜穴生＞

(2) 高齢者・障害のある人、母子・父子家庭等への支援 (生きがい・健康づくり等)

- ・ 地域交流型デイサービス利用者等の作品展の開催 (1 回 13 人) ＜施設部＞
- ・ 高齢者地域交流支援通所事業の実施 ＜生活福祉課＞
(市民センター50 箇所 週 2 回、日数 4,774 日 53,925 人)
- ・ 高齢者見守りサポーター派遣事業の充実 ＜生活福祉課＞
(利用登録者 80 人 派遣回数 559 回)
(サポーターフォローアップ研修 1 回)
(事業説明会 155 回)
- ・ 健康マイレージ事業の推進 ＜生活福祉課＞
(事業登録件数 3,916 件、事業説明件数 1,074 回、応募者数 15,544 人)
- ・ 市民の健康づくり支援として健康ウォーキング、ニュースポーツ出前事業の実施 (健康ウォーキング等 355 回 13,116 人) ＜穴生＞

3 調査・研究、提言

(1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催

- ・ 総合企画委員会の開催 (2回 正副委員長会議 2回) <地域福祉課>
- ・ 市長と市社協正副会長、区社協会長との意見交換会 <総務課>

(2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言

<地域福祉課>

- ・ ふれあいネットワーク活動中間報告・実績報告による校(地)区社協活動の点検・評価
- ・ 校(地)区社会福祉協議会におけるサロン事業実態調査
(全 154 校(地)区を対象に実施、実態調査報告書 300 部)

(3) ボランティア・市民活動実態調査

- ・ 調査回答団体 686 団体の現状把握、分析 <活動推進課>

推進基盤の強化

社会福祉法は、地域福祉の推進役として社会福祉協議会を位置づけています。

校(地)区社会福祉協議会・区社会福祉協議会・市社会福祉協議会は、一体となって「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていくために、各域社協で「組織づくり」「活動拠点の確保」「活動点検」「役割分担」「財政基盤の強化」「人材育成」の視点を持って推進基盤の強化を行い、連携・協働しながら、地域福祉活動を計画的に進めています。

1 校(地)区社会福祉協議会への支援

- ・ 地域福祉活動計画に基づく活動の実践の支援 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区社協役員会・連絡調整会議等の定期的な開催による課題の共有と対応 <地域福祉課>
- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画推進状況の点検評価及び計画の推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ ふれあいネットワーク活動中間報告・実績報告による校(地)区社協活動の点検・評価【再掲】 <地域福祉課>
- ・ まちづくりクッキー販売等自主財源確保の取り組み支援 <振興課>

2 区社会福祉協議会への支援

- ・ 地域福祉活動計画に基づく活動の実践の支援【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 地域福祉担当者会議による小地域福祉活動支援力向上 <地域福祉課>
- ・ 区における収益事業、賛助会員等の拡充の支援 <振興課>

3 市社会福祉協議会での基盤強化

- ・ 区役所ワンストップサービス化に伴う区社協ボランティア・市民活動センターの体制整備 <活動推進課>
- ・ シルバーひまわりサービス事業の管理システム改修 <活動推進課>
- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 地域福祉担当者会議による小地域福祉活動支援力向上 <地域福祉課>
- ・ 賛助会員増強運動の推進（企業・団体 210 件、個人 254 件） <振興課>
- ・ 自主財源確保の企画・提案 <振興課>
- ・ 収益事業の拡充 <振興課>

- ・ 第二期指定管理業務の推進 ＜施設部・北九州シニアネットワークアカデミー＞
(ウェルとばた、年長者研修大学校、北九州穴生ドーム、夢追塾)
- ・ ウェルとばた開館10周年記念事業の実施 ＜施設部＞
- ・ 全部署の物品購入一元化及び入札による経費削減 ＜施設部＞
- ・ 省エネ、省資源対策の充実による更なる経費削減(光熱水費5.9%削減)
＜施設部＞
- ・ 省エネ・省資源による施設運営の研究 ＜周望・穴生＞
(研修室等へのグリーンカーテンの設置による暑さ対策の実施)
- ・ 研修生の環境リサイクル運動への取り組みとリデュース・リユースの啓発
＜周望・穴生＞

常設委員会

市社会福祉協議会が実施する事業を適正に遂行するよう、各種常設委員会にて協議を行っています。

- ・ 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会(3回) ＜振興課＞
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会(2回) ＜振興課＞
- ・ 表彰審査委員会(2回) ＜総務課・振興課＞
- ・ 総合企画委員会(2回) ＜地域福祉課＞
- ・ 権利擁護・市民後見センター監視委員会(4回) ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ 権利擁護・市民後見センター運用委員会(16回) ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ 福祉人材バンク事業運営委員会(1回) ＜福祉人材バンク＞
- ・ ボランティア・市民活動センター運営委員会(3回) ＜活動推進課・研修課＞
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー運営改善委員会(2回)
＜北九州シニアネットワークアカデミー＞

専門委員会

- ・ ボランティア・市民活動団体ネットワークに関する専門委員会(2回)
＜活動推進課＞
- ・ 研修専門委員会(4回) ＜研修課＞